

# おんぶだより

## 第54号

### 言葉の発達について

新規利用を希望される方のお困りで一番多いのが、「言葉の遅れ」です。「言葉がなかなか出ない。」「言葉を発しているが不明瞭である。」といった相談を多く承っています。言葉の遅れは、発達の早期である乳幼児期において生じやすいものです。子どもの育ちは個人差が大きく、言葉の遅れの原因を明確に特定することは難しいです。また、個人差の範囲内であれば育っていく中で目立たなくなることもあります。

「お子さんの言葉の力を伸ばしたい。」となったときに、「口を動かす練習が必要」「言語聴覚士の先生の指導が必要」と考えてしまいますよね。しかし、言葉は運動や認識と相互に関連しあいながら発達していきます。ご家庭でいろいろなふれあいを通し、安心できる人間関係のなかで、聴き取って理解したり、言葉を模倣したりする力や、相手に何か伝えたいという気持ちが育っていきます。また、発音は粗大運動・微細運動・眼球運動などすべてをふくめた身体の使い方、体の育ちに支えられています。

したがっておんぶでは、言葉の育ちへのアプローチとしていろいろな専門職が関わって活動をすすめています。もちろん今年度から言語聴覚士が入ったため、口腔機能訓練や言葉の検査などより専門的な関わりができるようになりました。

なお、言葉の遅れが見られるときに、聴覚機能や自閉症スペクトラムといった発達障害が原因になることもあります。ご家庭での気になる様子などいつでもご相談ください。

### 9月のおんぶ

個別活動 (午前)



スクーターボード



上手に乗れるかな？



とび石



水遊び



キャッチボール



形と色合わせ



すごろく



舌の動きの練習



ビー玉ころころ



ストロブ課題

集団活動 (午後)



敬老の日製作



とんとんずもう



ラグビーボールわたし



絵描き歌



りずむ(星ヶ峯放デイ)に遊びに行ったよ!



放デイ個別活動

10月のおんぶ  
 ・おんぶ運動会  
 ・公園あそび  
 ・おたんじょう会 などなど…

★状況によって内容が変更になる場合があります。

